

アパホテル〈高知〉 本日披露式典開催

アパホテルネットワークとして全国最大の1,059ホテル142,943室(建築・設計中、海外、アパ直参画ホテルを含む)を展開するアパホテル株式会社(本社:東京都港区赤坂3丁目2-3取締役社長 元谷 芙美子)は、ホテル事業において、有限会社高知パレスホテル(本社:高知県高知市廿代町1-18代表取締役社長:吉村 貴志)とアパホテル〈高知〉(全260室)のフランチャイズ契約を締結、2026年3月6日に開業し、本日披露式典を執り行った。

開業記者発表にて、アパグループ社長 兼 最高経営責任者(CEO)の元谷一志は「アパパートナーホテルズ(現:アパ直参画ホテル)に加盟頂き14年、県内最大客室数の高知パレスホテル様のフランチャイズ化が当社にとって最善と判断し、継続して吉村社長のサポートを行ってきた結果、アパホテル〈高知〉の開業を迎える運びとなった。高知県初のアパホテル開業を待ち望んでいた会員様の宿泊需要を獲得し、多くのお客様を迎え入れて頂きたい。エリアに応じて、新築ホテルの建設、供給客室数増加に伴う競争を煽るのではなく、フランチャイズ契約による既存ホテルのリブランドを行い、地域社会との共存共栄を目指したホテル運営を採用していく。」と述べた。

当ホテルはJR「高知駅」南口から徒歩7分、高知龍馬空港から連絡バスで30分の市内中心部、繁華街に位置する。高知城まで徒歩約15分、ひろめ市場まで徒歩約10分、桂浜まで車で約20分と利便性が高く、日本最大級の夏祭りである「よさこい祭り」期間中は、ホテル周辺は多くのお客様が行き交い、賑わいを見せる。

開業にあわせ、高品質・高機能・環境対応型を理念とする「新都市型ホテル」へと改装工事を実施。標準仕様として、全客室に50型以上の大型液晶テレビの設置、快眠を追求したアパオリジナルベッド「Cloud fit」の導入、明るさにこだわったシーリングライト、照明スイッチ類(すべての照明を一括でON/OFFできるおやすみスイッチを含む)、コンセント、USBポート(type-A,C対応)を集約した枕元集中コントローラーを採用。ホテルサービスとして、環境配慮の観点から水資源を有効に使うため、各階にウォーターサーバーを導入すると共に、プラスチック削減にも取り組み、アメニティは各館1階のアメニティバーから自由に持っていくスタイルを採用する。

四国エリアは、2026年7月28日にアパホテル〈松山市駅前〉(愛媛県松山市・全213室)が新築ホテルとして開業を控えている他、アパホテル〈高松空港〉(香川県高松市・全157室)、アパホテル〈丸亀駅前大通〉(香川県丸亀市・172室)、アパホテル〈高松瓦町〉(香川県高松市・全88室)、アパホテル〈徳島駅前〉(徳島県徳島市・全88室)、アパホテル〈松山城西〉(愛媛県松山市・全144室)が営業しており、本ホテルを含め全7ホテル1,122室体制となる。

【ホテル概要】

ホテル名	アパホテル〈高知〉(ホテル No.403)
所在地	〒780-0843 高知県高知市廿代町1-18
アクセス	JR 高知駅から徒歩7分、高知龍馬空港から連絡バス乗車で約30分
構造 / 規模	本館:SRC造 地上10階 別館:SRC造 地上8階、地下1階
客室数	260室(シングルルーム、セミダブルルーム、ダブルルーム、ツインルーム、デラックスツインルーム)
館内施設	レストラン「ピッツェリア・エズ」、会議場「ミュージズ」、駐車場(46台)

【アパグループ】

アパホテルネットワークとして全国最大の1,059ホテル142,943室(建築・設計中、海外、アパ直参画ホテルを含む)を展開している。2010年4月にスタートした「SUMMIT 5(頂上戦略)」を継承し、2022年4月より新たな5ヶ年計画「AIM5 ~ APA Innovative Movement」を始動。アフターコロナにおけるニーズの変化やDX化の波を捉えながら、国内で圧倒的なNo.1ホテルチェーンとなるべく、2027年3月末までにアパホテルネットワークとして15万室展開を目指す。

■お問い合わせ先 ※写真データ等必要な場合はメールにて送信します。

アパグループ東京本社 社長室

住所:東京都港区赤坂3-2-6 電話:03-5570-2131

E-Mail:kouhou@apa.co.jp URL:www.apa.co.jp



■テープカット



■外観



■本館（外観）



■別館（外観）



■本館ロビー



■シングル・ダブルルーム



■ツインルーム



■ウォーターサーバー



■アメニティバー



■レストラン「ピッツェリア・エズ」



■朝食



■会議場「ミューズ」



■小会議室

